



学校だより

皆与志養護学校
平成 29 年度第 3 号
平成 29 年 10 月 19 日

子どもの命を守る

校長 五反田 勝

「命って“時間”ですよ。だから、子どもの命を守るってことは、子どもの時間、そのときどきのかかわりを大事なものとして考え、充実させるってことですよ。」と以前ある先生が話をされました。ずっと腑に落ちる話でした。『教えるということ』という書籍の中で、大村はまさんは「授業時間は子どもにとっては唯一の時間、再び繰り返すことのできない時間」「子どもというのは身の程知らずに伸びたい人のこと。一步でも前進したくてたまらない。力をつけたくて希望に燃えている、その塊が子ども。」と論じています。本校の子どもたちも同様に、力をつけたくて、何かを伝えたくてたまらない塊の存在です。毎日の授業、行事に向けた練習、様々な体験活動。そんな彼らの時間を私たちは大事に想い、「できたよ」「やれたよ」といういい笑顔で満たしていきたいと切望しながら共に活動しています。



中学部 修学旅行



9月21日(木)・22日(金)、中学部2・3年生の6人が修学旅行に行きました。1日目は、新幹線に乗り、熊本駅へ行きました。駅の係員や客室乗務員の方に親切にいただき、景色や会話を楽しみながら車内での時間を過ごすことができました。また、駅構内で昼食や買い物を楽しみました。宿泊したサンロイヤルホテルでは、大浴場での入浴をゆったりと楽しみ、夜の自由時間にはホテル周辺へ散策に出掛けた生徒もいました。2日目は、宝山ホールで6人のための「宝山ふれあいコンサート」を鑑賞しました。1500人収容の大きなホールで、4人のホール職員の演奏に応えるように声を出したり、舞台上で演奏者と共演したり、コンサート用グランドピアノなどの本物の楽器に触れたり、とても充実した活動でした。今回も、やまびこ医療福祉センターや各施設の職員の方々の御協力をいただきました。ありがとうございました。



避難訓練



2学期は、大地震を想定しての訓練でした。事前学習でDVDを見ながら、地震の怖さや避難の仕方などを学習し、当日の訓練に臨みました。「緊急速報！」の放送と地震の大きな音とともに訓練が始まりました。児童生徒は伊敷分遣隊の方が見守る中、防災頭巾や毛布を頭に被り怖がることなく避難できました。同時に子ども達の安全を守る避難方法を確認できた訓練となりました。



遠足



9月15日(金)に小学部と中学部1年生で、水族館へ遠足に行きました。「いるかの時間」のイルカのジャンプに喜んだり、「タッチコーナー」で、ナマコやウニに触れて驚いたりする子ども達のいろいろな表情が見られました。「見て、触れて、感じる」とてもいい体験の場になりました。



